

2026年9月3日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ヘ リ オ ス
代表者名 代表執行役社長 CEO 鍵 本 忠 尚
(コード番号：4593 東証グロース)

再生医療 JAPAN 2026 への出展及び FIRM 会員プレゼンテーションのお知らせ

当社は、2026年10月7日（水）から9日（金）にパシフィコ横浜にて開催される「BioJapan 2026」／「再生医療 JAPAN 2026」／「healthTECH JAPAN 2026」に出展いたします。会期中、当社ブースにて事業内容や開発パイプラインをご紹介するとともに、一般社団法人再生医療イノベーションフォーラム（FIRM）会員限定のプレゼンテーションを実施いたします。詳細は下記の通りです。

出展概要

- ・ 展示会名: [BioJapan 2026／再生医療 JAPAN 2026／healthTECH JAPAN 2026](#)
- ・ 会 期: 2026年10月7日（水）～9日（金）
- ・ 会 場: パシフィコ横浜
- ・ 当社ブース: 再生医療 JAPAN ゾーン 小間番号 R-40

FIRM 会員プレゼンテーション

- ・ 日 時: 2026年10月9日（金）12:45～12:55（10分間）
- ・ 会 場: 再生医療 Stage（会場内特設ステージ）
- ・ 演 題: [研究開発から製造へ：ヘリオスの再生医療・CDMO プラットフォーム](#)
- ・ 発 表 者: 木村博信（神戸研究所所長）

当社は、本展示会への出展・プレゼンテーションを通じて、当社の再生医療分野における研究開発の取り組みをご紹介するとともに、国内外のパートナー候補企業や研究機関の皆様との対話の機会を創出してまいります。

■株式会社ヘリオスについて

再生医療は、世界中の難治性疾患の患者さんにとって新たな治療法として期待されています。この分野では、製品開発・実用化への取り組みが広がり、将来的には大きな市場となることを見込まれています。ヘリオスは、iPS細胞（人工多能性幹細胞）などを用いた再生医薬品開発のフロンティアランナーとして、実用化の可能性のあるパイプラインを複数保有するバイオテクノロジー企業です。2011年に設立、2015年に株式上場（東証グロース: 4593）し、再生医薬品の実用化を目指して研究開発を進めています。体性幹細胞再生医薬品分野では、健康な成人ドナー骨髄由来の体性幹細胞から成る独自の細胞製品である HLCM051 を使用した急性呼吸窮迫症候群（ARDS）や脳梗塞急性期及び外傷由来急性腎不全（AKI）の治験を実施しています。HLCM051 は、強力な抗炎症作用と免疫調節作用を示しており、さまざまな病態への応用が可能です。後期臨床試験において数百人の患者さんで試験され、3D 培養法で一貫して製造されており、複数の適

応症において数百人の患者さんで安全性と有効性の両方が実証されています。ヘリオスは、ARDS、脳梗塞急性期、外傷由来急性腎不全（AKI）に対し、HLCM051 をグローバルに推進してまいります。iPSC 再生医薬品分野では、免疫拒絶のリスクを低減する次世代 iPS 細胞であるユニバーサルドナーセル（UDC : Universal Donor Cell）を作製し、さらには、遺伝子導入技術により固形がんに対する殺傷能力を強化した次世代 NK 細胞（eNK®細胞）AKT-01/HLCN061 の開発を、当社の開発パートナーである株式会社 Akatsuki Therapeutics の主導で、治験開始に向けて進めています。eNK®細胞は、動物モデルにおいて強固な抗腫瘍効果を実証しており、大量生産が可能な 3D バイオリアクターでの製造プロセスを実現しています。これらにより、がん免疫領域をはじめ、眼科領域、肝臓領域などで新規治療薬の開発に取り組んでいます。

<https://www.healios.co.jp>

本件に関するお問い合わせ
IR 広報部 ir@healios.jp